

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS清須校		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	原始反射の統合につながる専門的な療育の提供	配属される前に、研修にて専門的な知識を学んでいる。現場では、原始反射の統合につながる様々なプログラムを行っている。	定期的な研修を行い、専門的な知識を取り入れていきます。
2	個別対応で手厚い支援	集団ではなく、一人ひとりに職員が付いて療育を行なっている。個別対応の為、一人ひとりに特化したプログラムを組むことができます。	1人ひとりと向き合い、一人ひとりに合ったプログラムの提供を行っています。
3	豊富なイベント	夏は夏祭り、冬はクリスマス会、保護者講演会や交流会も行っております。また、地域の方や利用者様のきょうだいをイベントに招待しております。	利用者様だけではなく、地域の方々、ごきょうだいが交流し楽しめるようなイベントを企画していきます。また、保護者様向けの講演会や交流会を開き、家族支援にも力を入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同年代の地域の子もたちの関わりが少ない	地域の方々を招待したイベントは行っていますが、同年代の地域の子もたちとの関わりは少ないです。	同年代の子もたちとも沢山関わることができるイベントを企画していきます。
2	待合室が狭い	待合室や玄関が狭く、帰りの保護者様への報告がしにくいです。また、小さいお子様と一緒に待つ時に過ごすスペースがありません。	なるべくスペースが広がるように環境構成を工夫します。
3	避難訓練やマニュアルなどを保護者様に伝えきれていない	マニュアルを策定し定期的に訓練や研修を行っていますが、保護者様に周知が行き届いていません。	インスタグラムやおたよりなどを使って定期的に発信していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS清須校

公表日 令和 7年 3月 31日

利用児童数 2025/2/28

28名

回収数 20名

	チェック項目	7	どちらとも いえない	7	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2			広くて清潔なスペースを確保していただいています。	広めにスペースを確保している為、伸び伸びと体を動かせるようになっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20				1対1で手厚くみていただいています。	お子様が安心・安全に過ごせるよう適切な配置で支援しています。
	3 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	1			玄関にスペースがもう少し広いと良い。次にやることや全体の流れが分かりやすい環境になっています。	今後も利用者様が使いやすい空間作りをしていきます。
	原始反射の統合につながる 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				子どもたちが心地よく楽しく過ごせる空間であると思います。	今後も利用者様が過ごしやすい空間作りをしていきます。清掃や消毒の様子をインスタグラム、おたよりなどで紹介しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			おたよりに写真が載っており色々なトレーニングがあることが分かる内容になっている。子どもに合わせた支援をしていただいています。	お子様の特性に応じた支援がご提供できるように職員一同で考えて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1				支援プログラムに沿った内容をご提供しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20				面談で保護者の悩みや普段の子どもの様子などを聞き取って頂いたうえで子どもに合わせた計画を作成していただいています。	職員間で情報を共有し支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1		2		1人ひとりの利用者様に合った計画を具体的に示しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					個別支援計画に沿って支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			3	色々なコーチと関わって良い。毎回違う活動をして下さるので子どもたちはいつも楽しそうです。	担当の職員を変えながら固定化されないようにしております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	3	5		ご要望に応じて対応を考慮していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時に保護者様にしっかりと伝わるように説明しております。また、意見を参考に対応を考えて参ります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					支援計画を示しながら具体的な内容をご説明しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			2	色々な研修などの機会を設けていただいています。	ご家族様が参加できる研修会や講演会などを企画してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18			1	利用後に毎回丁寧にフィードバックをしていただけるのでありがたいです。	お子様の状況を伝え合い、共通理解を図っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1		2	モニタリングは丁寧にしていただけました。	定期的に面談を行い、助言等をしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1			いつも寄り添って話をしていただいています。	今後も共感的に保護者様や利用者様の心情などを理解し支援を行っていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3		4	様々な機会を提供していただいています。	今後も交流できる機会を設けていきます。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			3	LINEや電話などで迅速に対応いただいています。	相談や申入れがあった際は迅速に対応していきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					保護者様と円滑に意思疎通ができるように対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			1		今後もInstagramや公式LINE、おたよりなどを活用し、発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					鍵付き保管庫にて管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		3		マニュアルを提示していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		5		年2回、避難訓練を行っております。お便りやInstagramでお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			4		安全計画で行っていることをおたよりやInstagramにて発信しております。また、待合室にて掲示しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3	怪我や事故が無いです。ご説明いただきました。	事故などが発生した場合は、すぐに保護者様に連絡する体制をとっております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				今日S.I.C.KIDSだよと伝えると「やったー！」と喜びます。子どもたちも親もいつも楽しく通所させていただいています。	今後も安心して来所していただけるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				運動のお勉強楽しみと言うようになった。発語の少ない息子ですが「たいそういく！」と楽しみに通所しています。	今後もお子様を楽しんでいると思っていただけるような支援を心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				とても満足しています。いつもありがとうございます。	今後もより良い支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDS清須校				公表日	令和 7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		教具の配置を工夫しスペースを確保している。	限られた空間の中で工夫してスペースを確保していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に沿った職員を配置している。さらに加配の職員も配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者様が理解できるように掲示物を工夫している。	段差があるスペースがある為、安全に配慮しながら対応していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除や消毒を徹底し、清潔を保っている。また、室内だけでなく、駐車場スペースの清掃にも気を配っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		室内に入れない時は別室を使用し、落ち着ける空間を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日支援の振り返りを行い、業務改善を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			今回のアンケートを基に業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で話し合う機会を設けている。話し合いでできた改善点については早急に対応している。	休みの職員など意見交換の場に参加できない職員もいる為、個別で意見を言える時間を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を開催し、職員の資質の向上を図っている。	職員からも受けた研修について意見を聞き、取り入れていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表している。	今後も支援プログラムを基に、支援を行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談にて保護者のニーズをお聞きし、支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を基に振り返りを行い、話し合いながら作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を全員で確認し、共通理解を図っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントなどを使用し、お子様の状況について適切に把握している。	アセスメントは定期的に見直し改善点があれば対応していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った目標を設定し、内容を具体化している。	定期的にガイドラインを確認していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に話し合いの機会を設けている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の記録ノートを確認しながらプログラムを作成している。	日々のノートだけでは足りないところもある為、適宜話し合いの機会を設けていく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保育園などの集団生活で対応できるような目標を設定しそれに沿ったプログラムを行っている。	集団生活でも対応できるような目標を入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を行い、内容や連絡事項を確認している。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を行い、その日の振り返りや連絡事項を確認している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回記録を作成している。また、適宜職員間で改善点などを話し合っている。		
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直しを行っている。	引き続き、定期的に見直しを行っていく。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		適した職員が参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携を取っている。	引き続き、必要に応じて連携を取っていく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		必要に応じて相互理解を図っていく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		機会があれば積極的情報共有していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	研修があったときは積極的に参加している。	今後も積極的に参加していく。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		イベントに地域の子どもたちなども招待している。	地域のこどもと交流できる機会を増やしていく。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、支援後に保護者様と話す機会を設けている。また、半年以内に1回、面談を行っている。	必要に応じて話す機会を増やしていく。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族様が参加できる研修や講演会を開催している。	今後ご家族様の思いを汲み取りながら研修や講演会を企画していく。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		分かりやすく丁寧に説明している。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と話し合う機会を設けている。また、子どもには支援の中で意向を聞いている。	引き続き、話し合う機会を設けたり支援の中で意見を聞いたりしていく。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		内容を丁寧に説明し同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行い、助言をしている。	必要に応じて適宜相談できる機会を設けていく。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		イベントなどで交流できる機会を設けている。	引き続き、保護者同士、きょうだい同士で交流が取れるようにしていく。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際は迅速に対応している。	引き続き、迅速に対応していく。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムや公式LINE、おたよりで発信している。	引き続き、様々なツールを使い、発信していく。	

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫を活用している。また、SNSに写真を掲載する際は、顔を隠していると共に掲載する写真を保護者様に確認していただいている。	引き続き十分注意していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的に分かるように掲示物を使うなど工夫している。	引き続き、配慮しながら情報を伝達していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントに地域の方を招待している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し訓練を行っている。	引き続き、様々な状況を想定し訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、必要な訓練等を行っている。年2回、避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		面談にて都度確認している。	定期的に確認していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食事の提供がない為、該当無し。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に沿った訓練や研修を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		SNSやおたよりにて取り組み内容を周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録を作成し、職員間で共有し合っている。	引き続き、共有していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を設けている。	引き続き、研修を設けていく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			現在は該当者なし。	今後、該当者が出た場合は職員間で話し合い、対応していく。	